

書評

「いのちが生まれる」瞬間が ストレートに伝わってくる

白井 千晶 大学非常勤講師(社会学)・REBORN スタッフ

本書は助産師・福岡光子さんと彼女が支えたお産を、写真家・広瀬飛一氏が7年にわたって撮り続けて完成した写真集。60年あまりお産と向かい合ってきた福岡さんのまなざし、手のぬくもり、赤ちゃんを迎えたお母さんやお父さん、きょうだいの喜びや安堵、愛情がそのまま伝わってくる。福岡さんの文章や、写真集に登場した家族の文章が写真に添えられ、助産院での家庭的な出産の様子がよくわかる1冊に仕上がっている。

おそらく日本ではじめて、水中出産で生まれてお湯の中からまさに第一声を発しようとする赤ちゃんの表情をとらえたものだろう。どの写真の赤ちゃんも、タイトル通り「生まれてよかった」と言っているようだ。



『生まれてよかった』(写真集)
写真・広瀬飛一／文・福岡光子
日本図書センター，2003年，定価(2,400円+税)

若い助産師，中堅助産師にはとくに本書を手にとってほしい。「ああ，助産師になってよかった」と，助産師であることを誇りに思うことができるだろう。明日からの活力になるに違いない。そしてこれから産む人にもぜひおすすめしたい。「いのちが生まれる」ということがストレートに伝わるはずだから。